

# シニアネット仙台

平成22年 7月

## 目次

第12回通常総会（1）……………1	なんでもシネマ……………5
第12回通常総会（2）……………2	飛行船俳句会・あしかび短歌会…6
講座案内……………3	グループ活動案内……………7
七夕たんざくフェスタにむけて……4	事務局便り……………8

シニアネット仙台のホームページもどうぞ <http://www.sendai-senior.org/>

## 第12回通常総会開催される 平成22年度の事業計画を決定

5月29日午後、一番町中央ビル8階のサロンわいわい一番町において第12回通常総会が及川芳子氏を議長として開催された。出席者は、本人出席45名、委任状出席243名の計288名と定足数の114名を上回った。

開会冒頭、小松一雄理事長から次のような挨拶があった。

- ・シニアネット仙台は経済不況などもあり、依然として取り巻く環境は厳しい状況であるが、平成21年度は予想以上に良い収支結果が得られ喜んでいいる。要因としてサロン利用率の飛躍的向上であると考える。以前より当所の立地場所（一番町）の利便性の活用を提案していた。調査では2年前の利用率は40%程度であったが21年末は64%と高い数字であった。このような施設ではいろいろな条件もあり、利用率の限度は70%程度と考えられ、それに近づいてきている。
- ・シニアネット仙台がここ一番町に移転して10年、ようやくシニアネットの知名度が上がってきている。口コミなどで会員の増加し、また講座・活動グループへの参加者が増大している。当所を利用する非会員の方々には積極的に会員になって戴く様に働きかけをお願いしたい。
- ・資金面で後援会が高齢化と言う事もあり、平成21年度をもって解散したとの報告を受けており、皆様にその旨ご通知しなければならない。長きに渡ってのご支援にこの場を借りて厚く感謝申し上げたい。



- ・一般的にボランティア、NPO組織においては運転資金を安定的に確保する事が重要かつ永遠の課題であるが、シニアネット仙台はここにきてようやく一息着き、運営面で安定の兆しが見えてきたと考えられる。これも皆様方のご協力の賜物と感謝いたします。しかしながら先行き我々を取巻く環境はどのように変化するかかわからない、また予測し難い状況です。

本年度も更に会員数の拡大、利用率の向上（70%目標）を目指し「シニアの生きがい作り」を皆様と共に、頑張っていきたいと思っておりますので今後とも皆様のご協力とご支援をお願いしたい。（以上理事長挨拶の要旨）

総会では、次の5議案が審議され、一定の質疑応答の後、すべて可決承認された。

- 第1号議案 平成21年度事業報告
- 第2号議案 平成21年度収支決算報告
- 第3号議案 平成21年度監査報告
- 第4号議案 平成21年度事業計画（案）
- 第5号議案 平成21年度収支予算計画（案）

なお、総会の中で出された質問等とそれに対する回答は次のとおりである。

- ・シニアネット仙台会員の意識調査についての問題提起があり、これに対して針生事務局長から、意識調査は良い問題提起であり今後検討したいとの回答があった。
- ・繰越金はどうなっているのかの質問があった。これに対して会計担当の中村理事から「繰越金」という名目では計上されていない、繰越金の中身となる現金、預金は貸借対照表に資産として計上されているとの回答があった。  
この繰越金については、他にも、繰越金についてはなんらかの形でその使い道も含めて明確化すべきとの意見があった。関連して、それは貸借対照表のなかで正味財産として明確に計上されており、この6百万円余の金額が繰越金にあたり、借金しないで使える財産であるとの意見があった。最終的に中村理事から、今後この正味財産の有効活用等について理事会において検討したいとの回答があった。
- ・最後に、現在シニアネット仙台が抱えている最大の問題点とその解決策について質問があった。これに対して理事長から、最大の問題は「人材の確保」であり、特にリーダーシップのとれる人材が不足しており、ボランティアをされる方は沢山おられるが皆を引っ張って行くという気概のある

人は少ないとの認識が示された。

また、会員の高齢化の中で後継者を育成する必要があり、団塊世代の方々に期待をしているが、必ずしも人材が集まっている状況ではないとの説明が行われ、今のところ、これらの課題解決に向けた有効な対策は見出していないので、会員の皆さんからの良い提案を頂ければありがたいとの回答があった。



## 講座「仙台・歴史アラカルト」ご案内

講師 「ぐるーぷ・よっこより」代表 遠藤勝目さん

### I 7月講座

- 1 日時 7月8日(木) 10:30~12:00
- 2 内容 「四ツ谷用水と貞山堀」をテーマに、伊達政宗のまちづくりに伴う用水、水運に対する思いをさぐる。

### II 8月講座

- 1 日時 8月12日(木) 10:30~12:00
- 2 内容 「伊達騒動(寛文事件)と歌舞伎『伽羅先代萩』」をテーマに、三代藩主綱宗の暹塞に始まる伊達騒動と歌舞伎や人形浄瑠璃、その真相をさぐる。

◎ 参加費 シニアネット仙台会員700円・非会員1,000円(資料代を含む)

◎ 会場・申込み I・IIとも「サロンわい・わい一番町」。

電話・FAX (217)0101 開講日の一週間前まで。

## 「ぐるーぷ・よっこより」研修会ご案内

### I 7月研修会

- 1 日時 7月26日(月) 10:00~11:30
- 2 会場 せんだいメディアテーク 7階
- 3 テーマ 伊達政宗のまちづくりと水利・水運
- 4 講師 「ぐるーぷ・よっこより」代表 遠藤勝目さん

### II 8月研修会

- 1 日時 8月9日(月) 10:30~12:00
- 2 会場 仙台市民会館 第一会議室
- 3 テーマ 伊達政宗の陣羽織考
- 4 講師 元仙台市博物館館長 濱田直嗣さん

◎ 参加費 シニアネット仙台会員 300円 非会員500円

◎ 申込締切 I・IIとも実施日の一週間前まで、電話・FAX (278)2848 遠藤

## =減災への7つの備え=

斉藤紀子

本日、6月3日はサロン企画 あなたが主役 =減災への7つの備え= 自助・共助の話聞く会に参加しました。

講師の伊藤ゆうみ先生は災害時ボランティアをはじめ多岐にわたるご活躍をされておられます。また、元看護師さんという医療の立場からのお話を含め、幅広く多くの知恵をいただきました。

私事ですが、当の午後5時30分頃(帰宅して間もなくです)我が家のマンションの火災報知機から「火事です、火事です、〇〇階から出火しました。非難してください。」とけたたましいサイレン音声が鳴り止まず、我が家と同じ階の火事です。マンション入居後1年足らずのびっくり出来事に遭遇しました。幸い、火事はぼやで済みほっとした次第です。

このような予期せぬことが、すぐ近くに起きて家族全員でさらに強く防災・減災を考え今日の講座のテーマ、自助・共助の大切さを思うことになりました。



### シニアのための携帯電話講習

「携帯は持っているけど、使い方がよくわからない」という方に、携帯電話の使い方をていねいに指導します。

日時：7月21日（水）午後1時30分～3時

場所：サロンわいわい

コース：入門コース

- ①基本操作と通話
- ②着発信履歴
- ③電話帳への登録
- ④留守番電話など

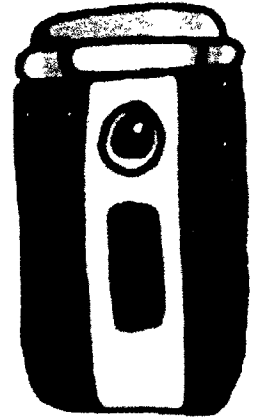
講師：デジタルワン会員

費用（資料代を含む）：（会員）1,500円、（会員外）2,000円

定員：5名（先着順）

持参するもの：携帯電話、取扱説明書

申し込み：サロンわいわい 電話：022-217-0101



### 春のサロンミニバザー（ご報告）

恒例の「サロンミニバザー」が21名の方々からの提供をいただき、5月22日～6月2日まで開催されました。今回は出品数が少なかったのですが、飛び込みのお客様もあり、売り上げ30,850円とまずまず!?でした。皆さんが楽しそうに選ばれている姿を見ると売込みにも力が入り、もう少し品物があつたらと思ったものでした。

次回のバザーには、なお沢山ご提供いただけることを念じて・・・ご協力ありがとうございました。

### 数字の話

長内 彩乃

還暦は人生の重大な節目。60歳。赤いちゃんちゃんこ、赤い座布団。一族郎党に祝福されてめでたい行事だった。その後喜寿、傘寿、卒壽、白寿と続く。たぶん白寿でおしまいと思うけれど・・・孔子先生のいった不惑は何歳だっただろうか？不惑の年を超えてもなお道に迷い、則を超え規範を見失い、数字をわからず結局惑うことばかりだ。

アナログだかデジタルだかテレビ予約をするとき、Gコード予約をするとき順序や意味のない数字を間違いなく並べなければならない。大昔円周率やルートをさらに歴史年表の数字を覚えたときは覚えられたと思うけど。大体日本人は753など奇数をこのみ偶数より奇数を尊重した。しかし8は末広がり、病院では49という数字は通常なかった。いまではそうでもないらしい。後期高齢者という言葉は世間では好まれないけれどわかりやすい。携帯電話、固定電話、我が家の住所、それに様々の暗証番号、最低の記憶項目にしないわが貧しき脳内容は満杯だ。そうだ、数字は必要最低限にしよう。

